



九州歯科大学 図書館だより

NO.30

昨年の選書ツアーの図書、『スヌーピー こんな生き方探してみよう』にこんな一文がありました。「...大事なものは、読んだ本の数ではありません。たとえたった一冊でも、人生を導くほど大きな意味を持つ本と出会ったなら、それは生涯信頼できる親友がひとりできるのと同じくらい素晴らしいことなのです。」そんな本に出会える場所のひとつが図書館です。ぜひ、あなただけの一冊を見つけてみましょう。

学務部学生支援班



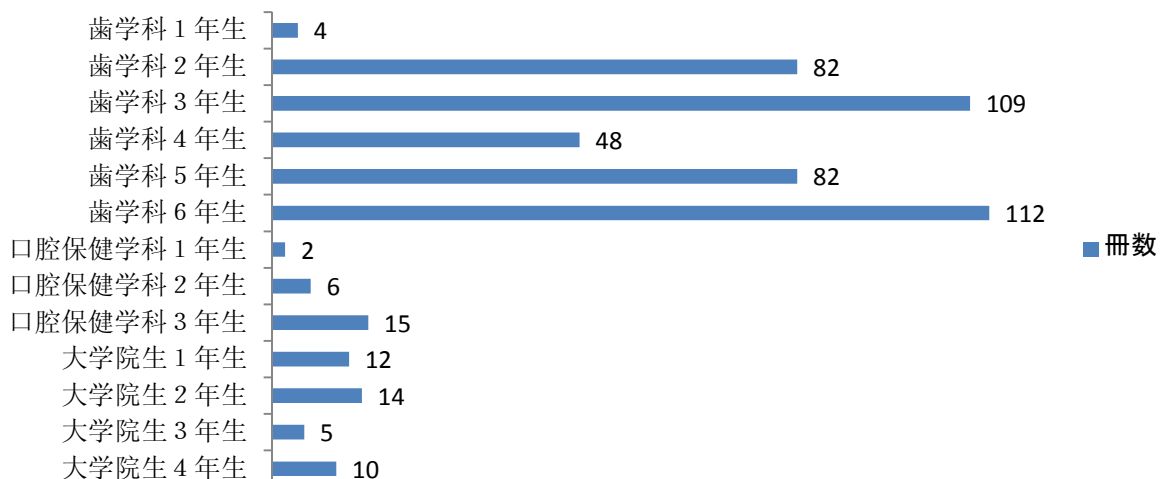
貸出ランキング

2012.11



- 1位 口腔外科学総論・麻酔学 2012/ 麻布デンタルアカデミー編
- 2位 口腔解剖学 = Oral anatomy / 井出吉信, 前田健康, 天野修編
- 3位 よくわかる口腔インプラント学 / 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦編
- 4位 歯科矯正学 / 相馬邦道 [ほか] 編集 ; 相馬邦道 [ほか] 執筆
- 5位 標準組織学 総論 / 藤田尚男, 藤田恒夫共著
- 6位 標準組織学 各論 / 藤田尚男, 藤田恒夫共著
- 7位 組織病理アトラス / 藍澤茂雄 [ほか] 編
- 8位 歯科国試answer 2012, v. 7: 小児歯科系 / DES歯学教育スクール編
- 9位 チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖
- 10位 歯の解剖学 / 藤田恒太郎原著

貸出冊数(11月)



《図書館は、年末は12月は28日(金)まで、来年は1月は4日(金)から開館します!》

2012年第2回選書ツアーサポーターが選んだおすすめ本を紹介します。★

『ビブリア古書堂の事件手帖』 三上延



北鎌倉の古書店主でビブリアマニアの「葉子さん」と、過去のトラウマで活字をろくに読めない主人公のコンビが、古書にまつわる謎を解き明かす物語です。祖母の残した本から秘められた過去が浮かび上がったり、セドリ屋が盗まれた本を探したりと、日常の小さな事件ですが、その一つ一つが本を巡る登場人物の人生と重なり、とても優しい世界観を醸し出しています。来年1月の月9で、剛力彩芽主演でドラマがスタートします。ぜひ、読んでみてください。

『つるかめ助産院』 小川糸

不幸な生い立ちに苦しむ女性が、南の島で出会った助産院の先生やその周囲の人たちとの触れ合いや妊娠を通して成長する物語。「出産」や「生きる」ということについて深く考えさせられる作品でした。出産のすばらしさや、心に染みこむ言葉があります。私の好きだった言葉は、

「リラックスとは緩むこと、緩んでいないといざというときに力が入らない、都会の人達は頑張ってるから笑っちゃうね」

心がポカポカする作品です。



『代筆屋』 辻仁成

Amazonか何かで「幻冬舎文庫」でキーワード検索をかけたら、割と評価が高めで売れているらしい本書を見かけました。

辻仁成さんの本は前から好きだったのですが、今作も秀逸。タイトルの“代筆屋”ですが、この怪しさ具合も好きです。泣きたい方にオススメです!!



2011年10月の選書ツアー
学生サポーターおすすめの一冊!

『バーにかかってきた電話』
東直己

大泉洋主演で大ヒットした映画の原作本。人気推理小説の第2弾です。おもしろくて、読み終わるのがもったいないくらいです。シリーズ作品なので、他の作品を読んでみるのもオススメです。



雑誌製本についてお知らせ

図書館では、年単位で雑誌を製本して保存しております。そのため、前年分の雑誌は、一時的に図書館にない場合や、別室に保管してある場合があります。製本処理が終了した雑誌は所定の位置に並べられます。

お探しの雑誌が書架にない場合は、製本処理中かもしれませんので、カウンターまでお尋ねください。

問題集利用のマナーについて

最新の問題集は貸出できませんので、館内でのみの利用となります。近頃、問題集が元の棚に戻されておらず、スタッフが探しても見つからないということがありました。結局、別の棚から発見されたのですが、多くの学生さんが利用する問題集です。次の人の利用を考えて、きちんと元の場所に戻すよう、心掛けてください。